

成人看護学概論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通じた看護について理解する。具体的には、臨床現場での意思決定および意思決定支援、健康と病気の経験および家族やグループの多様な倫理・文化・地理的背景とは何かについて、学びを深める。

・教育成果（アウトカム）

成人期にある患者およびその家族を対象とした急性期看護から慢性期看護に至るまでの過程について理解し各健康レベルに応じた看護実践のあり方や医療システムについて考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 成人期の人々の特徴と健康問題について理解し、多面的に考えることができる。
2. 治療過程を知り、症状マネジメントに応じた看護について理解できる。
3. 成人の看護に必要な基本的アプローチを説明できる。

・ 授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/6 (木) 3 限	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授	成長発達過程からみた成人の特徴 ・ 成人の定義、成人の区分を説明できる ・ 成人期にある人を理解するために、成人各期の心体的、心理的、社会的特徴と発達課題を理解できる ・ 成人の各期に特徴的な健康問題を理解できる 事前学修：青年期、壮年期、向老期各期の身体的、心理的、社会的特徴をまとめ提出
4/10 (月) 2 限	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授	成人を取り巻く社会環境と成人の生活 ・ 社会環境の中での成人の役割と責任について説明できる ・ 成人期にある人の労働の意味と価値について説明できる ・ 家族の役割、多様化する地域社会や人とのかかわりについて理解できる 事前学修：P43～95 を読み社会環境の中での成人の役割と責任、生活と地域社会の関係性について把握する
4/17 (月) 3 限	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授	成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策 ・ 成人の健康問題が保健統計を通して理解できる ・ 成人各期の健康問題について説明できる ・ 健康問題への保健・医療・福祉政策を理解できる 事前学修：成人各期に特徴的な健康問題についてまとめ提出
4/24 (月) 4 限	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授	成人への看護アプローチ① 健康障害をもつ成人に関わる際の基本的な視点 ・ 人としての尊厳を守ることその方法を説明できる ・ 人が人を支えるコミュニケーションの方法について理解する ・ 意思決定における看護師の役割について説明できる 事前学修：P176-197 を読み意思決定における看護師の役割についてまとめ提出
5/8 (月) 3 限	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授	成人への看護アプローチ② 健康の危機状況への対応 ・ 危機状態にある患者、家族への支援の方法を理解できる ・ ストレスとストレスコーピング、ストレスマネジメントについて説明できる ・ 事前学修：危機モデルについてまとめ提出
5/15 (月) 2 限	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授	成人への看護アプローチ③ 健康行動への行動変容 ・ 成人期にある人々の健康学習支援の特徴を説明できる ・ 行動への行動変容に対する支援が説明できる 事前学修：自己効力感、アンドラゴジー、についてまとめ提出

5/22 (月) 2限	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授	地域・在宅への継続看護 ・入院時から退院後の生活を見据えた看護の視点を説明できる。 ・退院支援における他職種連携のあり方を説明できる ・退院支援における他職種連携の在り方を説明できる。 事前学修：P350 退院～377 を読み退院支援の概要をまとめ提出
5/29 (月) 2限	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授	成人への看護アプローチ ・グループワークをとおして「聴く」ことの要点を説明できる ・ロールプレイを通して「共感」の態度を身につけることができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	成人看護学① 成人看護学概論/成人保健第7版	黒江ゆり子編著	メジカルフレンド社	2021
教	ナーシング・グラフィカ成人看護学⑥ 緩和ケア第3版	宮下光令編者	メディカ出版	2022
教	ナーシング・グラフィカ成人看護学③ セルフマネジメント 第4版	安酸史子、鈴木純恵他	メディカ出版	2022

・成績評価方法

定期試験 80%、事前学修 20%により評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

各授業の到達目標を確認し、毎回の授業に対して最低 30 分以上の予習、復習を行い、知識の定着と理解の促進を図ること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

各回講義の中で、教員とのディスカッションの機会を設ける。

レポート等課題は、WebClass で課題、書式、提出期限等を確認して、WebClass へ提出のこと提出されたレポートは、評価後適宜コメントを付し、返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 成人看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	デスクトップパソコン (HP ENVY Desktop TE01-1104jp パフォーマンスモデル)	1	講義資料の作成等